



Café de 村長 明日のとうかいを村長と語る

若者が参加できる地域づくりに向けて

【問い合わせ】広報広聴課(☎282局17711 内線1302)

山田村長を交えて、村の将来を担う若い世代の方々の思いや考えを語り合う「Café de 村長」。今回で4回目となるこの催しは、カフェのようになりラックスした雰囲気の中で、それぞれの思いを自由に話してもらったことで、今後のまちづくりのヒントにしたいとの思いから企画されたものです。

今回のテーマは「若者が参加できる地域づくり」に向けて――。大学生8人が、和やかな雰囲気の中で、意見交換を行いました。今回は、その内容の一部をご紹介します。



若者が地域に参加するには！

村長 20代の方々に、地域づくりに向けたアイデアや参加を期待しています。例えば、サークルなどで、地域のために何かをした経験などはありますか。

学生 民間の飲食チェーン店と共同で大学構内食堂の改善プロジェクトに参加しました。

学生 公共施設をPRするためにキャラクターを作成しました。

村長 実際に、若い人が地域のグループに参加するためにはどうしたらよいでしょうか。

学生 友だちを誘って参加できるものであれば、参加しやすいと思います。

学生 興味があっても、一人だとなかなか参加しにくいです。実際に行動に移すには勇気がいるので、まずは友だちと気軽に参加できるような雰囲気がつくられていると良いと思います。

住むなら東京？それとも地元？

学生 地元を離れたくないので東海村で仕事を探したいです。

学生 働く場所があれば、東海村から日立市やひたちなか市などに通うことも考えています。

学生 出身地の神奈川県に戻りたいと思っています。家族の近くで暮らしたいということと地元はいろいろと慣れていくからです。

村長 地元に住みたくても勤め先が少なく大都市圏に就職先が限られる傾向が全国的にあります。若い人たちに都会は魅力的かと思いますが、落ち着いて暮らすなら地元に戻りたいなど、皆さんの率直な意見を聞くことができました。

